

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

会計連動オプション機能を導入することで、各種会計ソフトとの仕訳連動が可能となります。
当資料では、市販の会計ソフトに汎用的に対応する会計連動オプションを説明します。

1. 概要説明

1) 仕訳対象となるデータ

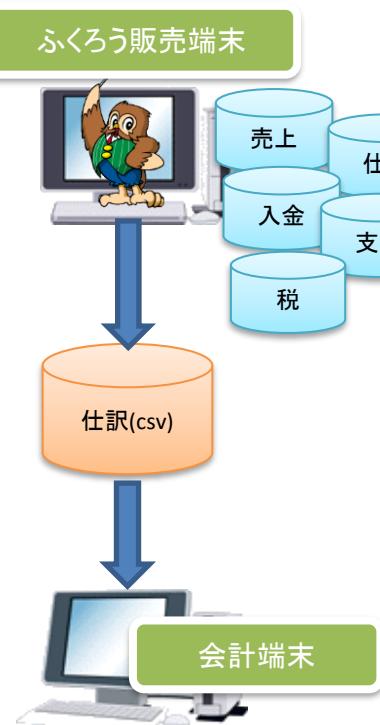
- ◆ ふくろう販売の各伝票入力画面(売上、仕入、入金、支払入力)から登録した各データ
- ◆ 請求締切処理または支払締切処理で作成される一括消費税データ

各伝票入力画面では明細で「伝区」(伝票区分)が指定でき、この伝区ごとに仕訳科目が設定されます。

◇ 売上入力、入金入力画面例

The screenshot shows two side-by-side input screens. The left screen is '売上入力' (Sales Input) and the right is '入金入力' (Cash Receipt Input). Both screens have a 'Transmission Area' (伝区) column highlighted with a red box. In the sales input screen, there are two rows: '掛売上' (Sales) and '掛経費' (Expense). In the cash receipt input screen, there are two rows: '振込入' (Transfer In) and '現金入' (Cash In).

2) 仕訳データ連動処理の流れ



① ふくろう販売の伝票登録(売上、仕入、入金、支払入力)
処理等で、各伝票データが日々蓄積されます。

② ふくろう販売の仕訳作成処理で、
CSV形式の仕訳ファイルが作成されます。

③ 会計端末側で、仕訳ファイルをインポートします。

※ ふくろう販売端末、会計端末は同一端末でも異なる端末でも作業できます。

※ ふくろう販売側で補助科目や取引先を追加、修正した場合、会計ソフト側も同様の修正が必要です。

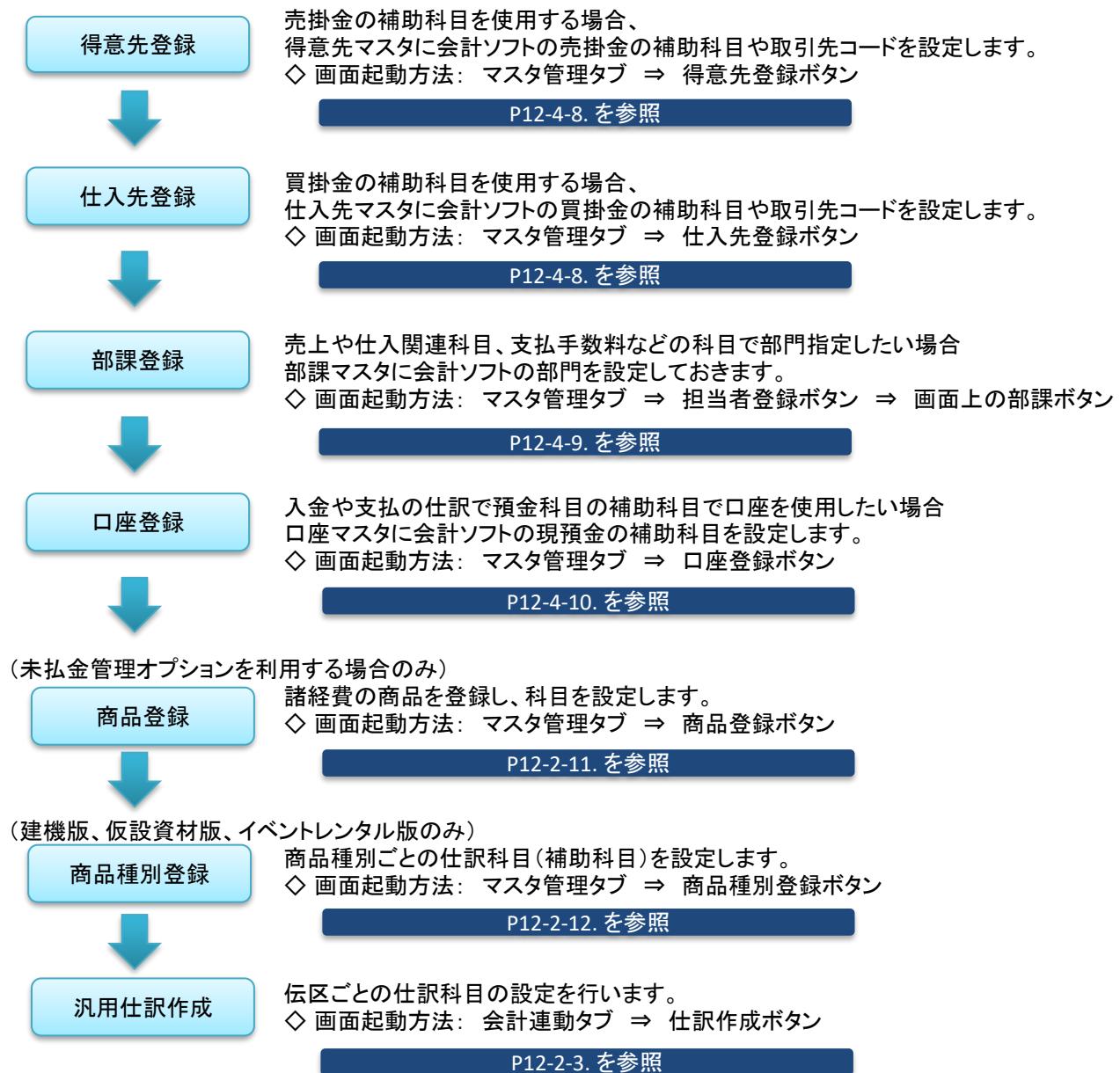
3) 設定できる補助科目、取引先、部門

- ◆ 売掛金、買掛金の補助科目に得意先、仕入先を連動できます。
- ◆ 売上や仕入関連科目的部門を使用する場合、ふくろうの部課を部門として連動できます。
- ◆ 入金や支払の預金の補助科目として口座を使用する場合、ふくろうの口座を補助科目として連動できます。

会計連動オプションが有効になると、各マスタ画面で補助科目や取引先が指定できるようになりますので、会計ソフト側で設定しているものと同じ内容で設定します。

4) 会計連動 運用開始までの流れ

会計連動を導入するには以下の流れで設定を行います。



以上の設定を完了すると、運用が開始できます。

2. 汎用仕訳作成 概要

1) 汎用仕訳作成



以下の各設定をします。各設定値は実行処理時に前回値記憶されます。

項目名	説明
出力基準	出力期間の基準となる日付を伝票日付・締切日から選択します。
出力期間	仕訳出力の対象とする日付の範囲を指定します。 出力基準が締切日の場合は、範囲ではなく1つの日付(締切日)を指定します。
伝票種類	伝票種類ごとに出力するかどうかを設定します。

【注意点】

- 汎用仕訳作成では赤黒転記を行わず、指定した出力期間内の伝票を常に出力対象とします。仕訳の重複や漏れにご注意ください。
- 決算日をまたがる出力範囲を指定して実行した場合でも、決算日ごとに分割しません。分割する場合は出力期間を分けて複数のcsvファイルを作成してください。
- 複合仕訳は作成しません。必ず1:1の仕訳を作成します。

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

2) 仕訳設定

伝票種類ごとにタブを切り替えて設定します。

仕訳は必ず伝票区分(伝区)ごとに設定する必要があります。

汎用仕訳作成 - 仕訳設定

初期値		出力項目(S)		税区分(Z)		摘要(I)				
ボタンをクリックすると表示中の伝票種類に対して初期値が設定されます										
伝票別仕訳に設定		取引先別仕訳に設定								
伝票種類										
売上	入金	仕入	支払							
伝区	金額 符号	勘定科目		補助科目		部門	取引先コード	税区分・税率	勘定科目	
		1 売掛金	1 得意先マスター	0 固定	0 出力しない					1 出力する
1 510 売上	1 売掛金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	売上高	0 固
2 511 売戻返	-1 売上戻り高	0 固定	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	売掛金	1 得
3 512 債権引高	-1 売上債引高	0 固定	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	現金	0 固
4 513 債経費	1 売掛金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	2 対象外	対象外	現金	0 固
5 520 現売上	1 現金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	現金	0 固
6 521 現売戻	-1 売上戻り高	0 固定	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	現金	1 得
7 522 現債引高	-1 現金債引高	0 固定	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	現金	1 得
8 523 現経費	1 現金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	2 対象外	対象外	現金	0 固
9 530 前売上	1 前受金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	2 対象外	対象外	売上高	0 固
10 531 前売戻	-1 売上戻り高	0 固定	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	前受金	1 得
11 532 前債引高	-1 売上債引高	0 固定	0 出力しない	1 出力する	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	前受金	1 得
12 533 前経費	1 前受金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	2 対象外	対象外	現金	0 固
13 991 税掛請	1 売掛金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	2 対象外	対象外	売上高	0 固
14 992 税前請	1 前受金	1 得意先マスター	0 出力しない	1 出力する	2 対象外	対象外	2 対象外	対象外	売上高	0 固

【摘要】摘要に output する項目の設定画面を起動します

OK(F5) キャセル(Esc)

項目名	説明
伝区	ふくろうに登録済の伝区コードと伝区略名が自動で表示されます。 変更不可です。
金額符号	伝票で登録した金額と同じ符号で仕訳を作成する場合は「1」、異なる符号で仕訳を作成する場合は「-1」を入力します。
勘定科目 (借方・貸方で共通)	勘定科目名、または勘定科目コード(仕訳データに出力する勘定科目)を入力します。
補助科目 (借方・貸方で共通)	取得していくマスターを以下から選択します。 0:固定/1:得意先マスター/2:仕入先マスター/3:口座マスター/4:部課マスター 0:固定とした場合は横の列に固定文字を入力可能です。
部門 (借方・貸方で共通)	部門を出力するかどうかを指定します。
取引先コード (借方・貸方で共通)	取引先コードを出力するかどうかを指定します。
税区分・税率 (借方・貸方で共通)	税区分と税率を出力するかどうかを指定します。 2:対象外とした場合は横の列に固定文字を入力可能です。
伝票No・行No	伝票Noと行Noを出力するかどうかを指定します。 1:伝票Noの場合は伝票Noのみ出力、2:伝票No+行Noの場合は両方を出力します。

汎用仕訳作成 - 仕訳設定

初期値		出力項目(S)		税区分(Z)		摘要(I)	
ボタンをクリックすると表示中の伝票種類に対して初期値が設定されます							
伝票別仕訳に設定		取引先別仕訳に設定					
伝票種類							

画面左上で「伝票別仕訳」「取引先別仕訳」から任意の設定パターンを設定するボタンをクリックすると、選択した設定パターンの初期値が自動でセットされます。

伝票別仕訳 … 伝票単位で仕訳する場合の設定です。

取引先別仕訳…取引先単位で仕訳する場合の設定です。

<設定の仕方について>

借方の取引先コード、貸方の取引先コード、摘要の伝票No・行Noの3か所の項目に設定する内容によって仕訳の分かれ方が決定します。

Q. 合計金額で仕訳をしたい。

→

A. 借方の取引先コード、貸方の取引先コード、摘要の伝票No・行Noの3か所とも「0」(出力しない)に設定してください。

Q. 取引先毎に仕訳をまとめたい。

→

A. 借方または貸方の取引先コードの少なくともどちらか一方を「1」(出力する)に設定、摘要の伝票No・行Noを「0」(出力しない)に設定してください。

Q. 伝票毎に仕訳をまとめたい。

→

A. 借方または貸方の取引先コードの少なくともどちらか一方を「1」(出力する)に設定、摘要の伝票No・行Noを「1」(伝票No)に設定してください。

Q. 明細毎に仕訳をまとめたい。

→

A. 借方または貸方の取引先コードの少なくともどちらか一方を「1」(出力する)に設定、摘要の伝票No・行Noを「2」(伝票No+行No)に設定してください。

※ 借方の取引先コードと貸方の取引先コードについては、取引ごとに分けたい方の設定を「1」(出力する)と設定してください。

(例) 「売掛金/売上高」の仕訳の場合は、借方の補助科目を取引ごとに分けたいため借方の取引先コードを「1」(出力する)と設定します。

その他の設定は仕訳設定画面から各設定画面を起動して設定します。



出力項目 … 出力する項目を設定する画面を起動します。

税区分 … 仕訳税区分を設定する画面を起動します。

摘要 … 摘要列に出力する項目を設定する画面を起動します。

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

3) 出力項目

csv出力する際の列を設定します。



項目名	説明
日付フォーマット	日付の項目を出力するときにどの形式で出力するかを選択します。 例) 2025年9月24日の場合、以下のようになります。 yyyyMMdd … 20250924 yyyy/MM/dd … 2025/09/24
項目を追加、項目を削除ボタン	選択中の行の上に1行追加、または選択中の行を1行削除します。
項目名	csv出力時に1行目に出力する項目名(列名)を入力します。
出力内容選択	ふくろうから出力する内容を選択します。 選択すると画面下部にその内容についての説明が表示されます。
固定文字	出力内容選択で「固定文字」を選択したときのみ入力可能です。 出力するデータに関係なくすべての仕訳で同じ文字を出力します。

出力内容選択で同一の内容を選択している場合は、OKボタンをクリックした際にエラーチェックが行われます。
ただし、「固定文字」は重複して使用する場合があるためチェックしません。

4) 税区分

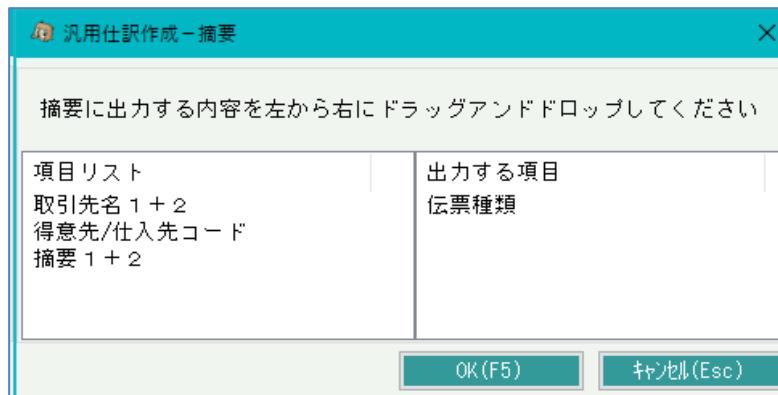
仕訳作成時の税区分を設定します。



項目名	説明
ふくろう 課税区分コード、 課税区分略名	ふくろうに登録済の課税区分コードと課税区分略名を表示します。 この画面では変更不可です。
仕訳税区分 仕訳税区分(返還)	会計ソフトで使用する税区分を設定します。

5) 摘要

摘要列に出力する内容を設定します。



出力したい項目を左側の「項目リスト」から右側の「出力する項目」にドラッグアンドドロップすることで摘要列に出力する項目を設定できます。

項目名	説明
伝票種類	伝票毎に「売上」「入金」「仕入」「支払」のいずれかの文字を出力します。
得意先/仕入先コード	伝票に紐づく得意先/仕入先マスターの得意先/仕入先コードを出力します。
取引先名 1 + 2	伝票に紐づく得意先または仕入先に登録済の得意先名 1 + 2(仕入や支払の場合は仕入先名 1 + 2)を出力します。
摘要 1 + 2	伝票の摘要 1 + 2 を出力します。

ただし、仕訳の集計の単位によっては出力できないため空白になる場合があります。

例えば取引先単位で仕訳を集計する場合は伝票単位で登録している摘要 1 + 2 を出力できません。

仕訳連動に関する注意点、補足

- 仕訳インポートの手順については、会計ソフトのサポートをご確認ください。
- 仕訳時の税区分や消費税額はふくろう販売側で仕訳にセットされます。
(会計ソフト側で再計算されません)
- 設定されている連動用の補助科目、取引先、部門や仕訳設定科目は、仕訳作成処理時に都度最新のものが採用されます。
設定を途中で変更した場合、過去の仕訳を再作成すると、最新の設定で仕訳されますので注意してください。
- 取引先や部門、口座が増えた場合は、ふくろう販売と会計ソフトの両方に登録する必要があります。
ふくろう販売のみに登録して仕訳した場合、会計ソフトによってはインポート時にエラーとなります。
- 同一伝票のインポート重複チェック機能の設定は会計ソフトによって異なります。
重複チェックしていない場合は、同じ仕訳ファイルを何度もインポートすることが可能でインポートする度に仕訳が重複されますので注意してください。
- 会計ソフトでインポートしても、元のファイルは自動で削除されません。
インポートしたデータは別フォルダに移動するなどの運用をお勧めします。
(2重取込の防止)
- 出力ファイル名の最後尾には時分秒が付加されています。
そのため、連續で出力した場合、同一秒内であれば同じファイル名で上書きされる場合がありますので注意してください。

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

3. 会計連動 運用開始するための登録・設定

1) 得意先登録、仕入先登録での設定

◇ 得意先登録画面

会計ソフトの売掛金の補助に登録している補助科目や取引先コードを指定します。
どちらも全角文字では12文字まで使用可能です(半角は24文字)。

締日	回収方法	月日	回収方法	終了日	与信限度額
締1 99	1991	中間決算	月 日	常備 2999/12/31	3,461,146
締2 0		本決算	月 日	臨時 / /	0
締3 0					

汎用仕訳補助 テスト得意先 汎用仕訳取引先コード 001

◇ 仕入先登録画面

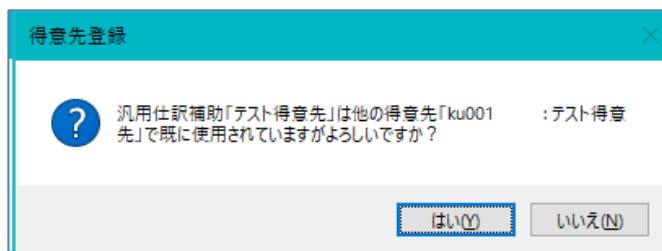
会計ソフトの買掛金の補助に登録している補助科目や取引先コードを指定します。
どちらも全角文字では12文字まで使用可能です(半角は24文字)。

注文書種類	標準	仕入先種別	通常仕入先
手数料負担	先方	手形サイト	0 日
取引口座	0004 ふくろう銀行	相殺得意先	

汎用仕訳補助 テスト仕入先 汎用仕訳取引先コード 001

【注意点】

- 異なる得意先で同じ補助科目を指定することは可能です。
登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は以下の警告が表示されますがそのまま登録も可能です。



会計連動オプション（汎用仕訳作成）

2) 部課登録での設定

① 部門仕訳概要

◇ 部課登録画面：マスタ管理タブ ⇒ 担当者登録 ⇒ 画面上の「部課」ボタン

会計ソフトに登録している部門名を指定します。

全角文字では12文字まで使用可能です(半角は24文字)。

事業所		部課	担当者		登録日
削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	
1	□ 本社	00	本社営業部	本社営業部	2015/11/13
2	□ 本社	0000	本社	本社	2010/03/08
3	□ 本社営業部	0001	営業立上室	営業立上室	2014/02/05

【注意点】

- 異なる部課で同じ部門名を指定することは可能です。
- 登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますがそのまま登録も可能です。

② ふくろう販売での部門の採用方法

ふくろう販売では売上、仕入、入金、支払入力画面で指定された「担当者」から部門を判定します。

担当者は必ず一つの「部課」に所属します。その部課に設定されている「部門」を仕訳にセットします。

売上入力

伝票No	9	受注No		伝票修正	処理
得意先	ku001	**テスト商事			
基本情報					
売上日	2025/04/04	計上	請求締日	2025/04/30	出庫
担当者	0001 ▼ 本社太郎	事業所	本社	先方担当	
納入先					
住所					
部署					地

担当者から部課が決定されます。

事業所		部課	担当者		パスワード
削除	事業所	担当者コード	担当者名	担当者略名	
1	□ 9999	神戸部課	0000	神戸太郎	神戸太郎
2	□ 0000	本社	0001	本社太郎	本社太郎
3	□ 0001	営業立上室	0002	営業立上室	営業立上室

部課から汎用仕訳部門が決定します。

事業所		部課	担当者		登録日
削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	
1	□ 本社	00	本社営業部	本社営業部	2015/11/13
2	□ 本社	0000	本社	本社	2010/03/08
3	□ 本社営業部	0001	営業立上室	営業立上室	2014/02/05

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

3) 口座登録での設定

① 口座を使用した仕訳概要

- ◇ 口座登録画面：マスタ管理タブ ⇒ 口座登録
会計ソフト側に登録している預金科目的補助科目を指定します。
全角文字では10文字まで使用可能です(半角は20文字)。

	削除	コード	口座名	口座種別	口座番号	銀行カナ名	支店カナ名	口座カナ名義	汎用仕訳補助
1	<input type="checkbox"/>	0000	みずほ銀行	普通	0000001	ジコクテ	カ化がり	ミミズク(か)	みずほ銀行
2	<input type="checkbox"/>	0001	三井住友銀行	普通	1234567	ミツイモキヨウ	スイケテ	ミミズク(か)	三井住友銀行
3	<input type="checkbox"/>	0002	三菱東京UFJ銀行	当座	7854321	ミツシ	チヨウウヘン	ミミズク(か)	三菱東京UFJ銀行

【注意点】

- ・異なる口座で同じ補助科目名を指定することは可能です。
登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますがそのまま登録も可能です。

② ふくろう販売での口座の採用方法

ふくろう販売では入金、支払入力画面で指定された「取引口座」から普通預金か当座預金かを判定します。
同時に選択したその口座に設定されている「補助科目」を仕訳にセットします。

The screenshot shows the 'Deposit Input' screen. In the 'Basic Information' section, the '取引口座' (Account Type) dropdown is set to '普通' (Ordinary). In the 'Detail Information' section, there is a table for '振込先' (Debit Account) with one row selected, which also has '普通' (Ordinary) listed under '口座種別' (Account Type).

選択した口座より口座種別(当座・普通)を判定し勘定科目を決定し、同時に補助科目名を採用して仕訳されます。

	削除	コード	口座名	口座種別	口座番号	銀行カナ名	支店カナ名	口座カナ名義	汎用仕訳補助
1	<input type="checkbox"/>	0000	みずほ銀行	普通	0000001	ジコクテ	カ化がり	ミミズク(か)	みずほ銀行
2	<input type="checkbox"/>	0001	三井住友銀行	普通	1234567	ミツイモキヨウ	スイケテ	ミミズク(か)	三井住友銀行
3	<input type="checkbox"/>	0002	三菱東京UFJ銀行	当座	7854321	ミツシ	チヨウウヘン	ミミズク(か)	三菱東京UFJ銀行

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

4) 商品登録での設定

① 諸経費の科目的設定

※1 仕入伝票の諸経費は「未払金管理オプション」ご利用時のみ使用される伝区です。

借方科目には(ダミー)が設定されていますが、実際には商品マスターで登録した諸経費の借方科目や補助科目(必要であれば)が設定されます。

商品登録

修正 コード 12348 登録済みの商品コードを指定すると修正モードになります

品名 文際費 品名 2 接待費応 略名 接待費応 単位 式
カナ ロツカヒ
在庫管理要否 不要 倉庫

事業所
使用区分 使用する 使用しない 完成品/セット品 関係なし

商品分類
商品区分 区分 1 区分 2 区分 3 区分 4 区分 5
商品種別 発注 仕入 受注 売上 入出庫 生産
単位重量 0 重量単位 0 リットル/箱 0 日
標準入数 0 発注ロット 0

諸経費区分 諸経費
借方科目 交際費
補助科目 使用する

未払金管理オプションを利用している場合、「諸経費区分」「(諸経費の)借方科目」「(諸経費の)補助科目」を商品登録で指定できます。

諸経費チェックがONの商品は仕入伝票で「諸経費」伝区の明細行に商品を指定できます。
作成される仕訳データの借方科目、借方補助には商品登録の内容が出力されます。

※2 支払伝票で入力した未払金は、支払の伝区にはありませんが、仕訳データは未払金のみ集計、出力されます。(「未払金管理オプション」利用時のみ、支払入力で未払金の入力が可能です)

支払に未払金伝区はないため、仕訳設定はできません。作成される未払金の仕訳には下記の内容が設定されます。

借方科目	仕入「諸経費」伝区の貸方科目(初期設定 未払金)
借方補助	仕入先の汎用仕訳補助
貸方科目	仕入「掛仕入」伝区の貸方科目(初期設定 買掛金)
貸方補助	仕入先の汎用仕訳補助

会計連動オプション（汎用仕訳作成）

5) 商品種別登録での設定

※ 建機版、仮設資材版、イベントレンタル版のみ登録できます。

① 商品種別ごとの仕訳概要

売上伝区（掛売上、現売上）の仕訳に限り、貸方科目または貸方補助科目を商品種別ごとに科目を設定します。
仕訳設定画面の補助科目が「0:固定」の場合のみ商品種別登録の科目が採用されます。

商品種別登録										
	削除	商品種別分類	内訳区分	コト*	名称	略名	表示順	使用区分	汎用仕訳 売上勘定科目	汎用仕訳 売上補助科目
1	<input checked="" type="checkbox"/>	販売	販売	001	販売	販売	7	使用する		00
2	<input type="checkbox"/>	販売	運賃	002	運賃	運賃	8	使用する	運賃売上	01
3	<input type="checkbox"/>	販売	修理	003	修理	修理	9	使用する		01
4	<input type="checkbox"/>	販売	燃料	004	燃料	燃料	10	使用する		01
5	<input type="checkbox"/>	販売	その他	005	作業	作業	255	使用する		01
6	<input type="checkbox"/>	販売	レジ	008	値引	値引	255	使用する		01
7	<input type="checkbox"/>	販売	販売	009	値引販売	値引販売	255	使用する		02
8		減失	販売	051	減失	減失	11	使用する	減失売上	00
9		(りかみ)		061	基本料	基本			基本料売上	00
10		(りかみ)		062	補償料	補償			補償料売上	01
11		リース売上	レンタル	081	リース売上	日極リース	12	使用する	リース売上	02
12		一括	レジ	101	一括	一括	5	使用する	リース売上	01
13		日極一括	レジ	102	日極一括	日極一括	6	使用する	リース売上	02
14		日極	レジ	111	日極	日極	1	使用する	リース売上	01
15		月極	レジ	121	月極	月極	2	使用する	リース売上	01
16		月極日割	レジ	141	月極日割	月極日割	3	使用する	リース売上	01
17		月極切替	レジ	151	月極切替	月極切替	4	使用する	リース売上	01
18	<input type="checkbox"/>	販売	販売	fu0	テスト	テスト	255	使用しない		02

上記登録の場合、日極や月極などの仕訳は下記のように仕訳られます。

売掛金 / リース売上

勘定科目ではなく補助科目に登録をした場合は下記のように仕訳られます。

売掛金(○○得意先) / 売上高(リース売上)